

## 65 期古希記念同期会、賑やかに開催！ 9月15日、@東京

### 60 名を超える仲間が各地から参集

昔の 70 歳はまさに「人生七十古来稀なり」で、皆その長寿を祝ったのであろう。

今の 70 歳は個人差があるものの、現役を続けている人も多く、元気なシニア世代とでも言ったら良いのだろうか。同期で古希を祝う会を 3 連休の初日、9 月 15 日(土)の午後、千代田区一ツ橋の日本教育会館喜山倶楽部で開催した。一昨年 9 月、上田で卒業 50 周年を祝ったのもついこの間のような気がする。

当日、参加者は関東勢はもとより、地元上田からも大勢、大阪、秋田、さらには遥々インドからの出席(田中裕子)も含め、総勢 60 名超となった。

会場の「光琳の間」の正面金屏風の上には澤崎健一(3 組)のデザイン、牧野泉(9)印刷による大きな力作横断幕が、三方の壁には同じく澤崎作のグリーンの記念ポスターが映える。

今回は関東が主催で、幹事団は宮原豊(9)を代表に上原昇(2)、原田義則(3)、丸山暢久、成澤文和(4)、牧野泉(9)、それに地元を代表して布施修一郎(6)の 7 名。

15 時からの開始だが、14 時頃には次々と来場、15 時過ぎに開宴となる。

パーティは牧野の司会により、宮原が開会のあいさつ、デザイナー澤崎の作品説明、布施の乾杯発声でスタートする。

宴たけなわのところまで 1 組から 11 組までクラス別に登壇、全員一言スピーチを披露するがお酒も入って賑やかな中、話はほとんど聞こえない状態なのは残念。

ワイワイやっているうちに予定の 2 時間があっという間に経過。

丸山暢久の中締め、続いて西村賢治(9)の応援リードで「フレー！フレー！上田」、そして最後は全員集合の記念撮影と忙しく進む。

最後に布施から「2 年後、母校創立 120 周年に合わせ、上田で同期会をする予定」と伝えられる。帰りには特製ポストカードをお土産に、上田での再会を約して散会となった。

(2018 年 9 月 15 日、上原記)

同期生 400 人に案内し、返事は 247 名、出席者は 65 名、その内訳は関東勢 38 名、地元上田や各地から 27 名でした。遠くからの参加ありがとうございました。ドタキャンなし、ドタ参(2 人)もうれしかったです。約 20 名のメルアドが判明、10 名の住所が更新。名簿管理が重要(上原さんに感謝)。欠席ハガキには、地元行事(役職)が重なるや孫や介護が 20 数名と年齢相応の事情、仕事・農業等々で多忙と元気な返事が多くて何よりですが、中に今後出席できない、以後の連絡不要と言う返事があり心配です。あと 2 年、関東同窓会では上原会長＝原田副会長体制を盛り上げ、東京オリンピックを観戦し、母校創立 120 周年に合わせた同期会で再見！ごきげんよう。幹事の皆さん、多謝感謝。

(2018 年 9 月 16 日、宮原記)

【写真1：澤崎デザイン、牧野印刷による横断幕】



【写真2：パーティ風景】

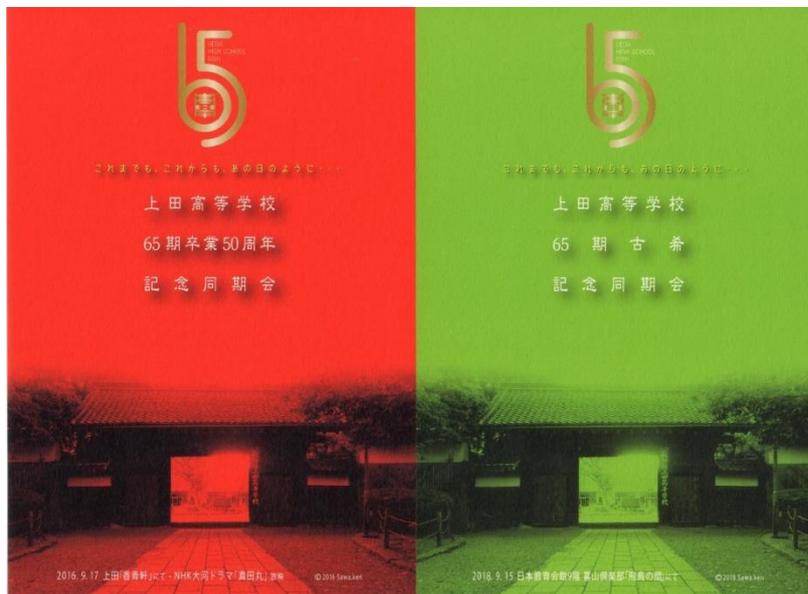


【写真3：集合写真】



【写真4：記念に配られた特製ポストカード】

左の赤は卒業50周年記念同期会、右の緑は古希記念同期会でいずれも澤崎健一作  
65の下のコピーは「これまでも、これからも、あの日のように・・・」



以上